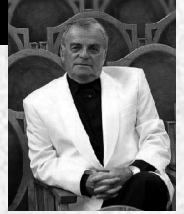


ボリス・テヴリン 指揮

国立モスクワ音楽院室内合唱団

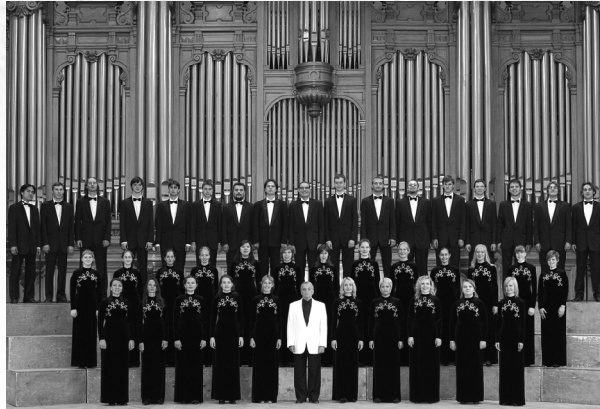
高度で緻密な声部が綾なす世界



国立モスクワ音楽院室内合唱団は、ボリス・テヴリン教授により、1994年に設立された。この合唱団のおもなレパートリーは、現代ロシアおよび諸外国の合唱音楽である。合唱団を構成しているのは、チャイコフスキー名称国立モスクワ音楽院合唱指揮科所属の学生と大学院生。

リヴァ・デル・ガルダ国際合唱コンクール(1998年、イタリア)の金メダルとグランプリ、第1回ブラームス名称国際コンクール(1999年、ドイツ)の一等賞および金メダル、第22回ハイフヌカ国際正教会音楽コンクール(2003年、ポーランド)の一等賞を獲得。2002年、同合唱団は第6回世界合唱音楽フォーラム(アメリカ)で、ロシアの合唱音楽を唯一代表。

ボリス・テヴリンの指揮の下、同合唱団は世界やロシアの多くの合唱作品を聴衆に紹介してきた。E・デニーソフ、



A・ルリエ、N・シデリニコフ、I・ストラヴィンスキー、A・シュニトケ、A・ショーンヴェルグ、D・アルジェント、V・アルズマノフ、S・グバイドゥリナ、G・カンチェリ、A・クナイフェル、R・レデニョワ、R・シチェドリソフ、K・ニューステッド、K・ペンデレツキ、I・スヴィデル、J・タヴェナー、R・トヴァルドフスキーなどの作品である。

モスクワ音楽院合唱団は、ロシアの一流オーケストラと協力関係にある。国立アカデミー交響楽団(芸術監督:M・ゴレンシュテイン)、国立交響楽団「新ロシア」(芸術監督:Yu・バシメット)、モスクワアカデミー交響楽団(Yu・シーモノフ指揮)、室内オーケストラ「ムジカ・VIVA」(A・ルージン指揮)、モスクワ交響楽団(芸術監督:V・ジブ)、室内オーケストラ「モスコヴィア」(芸術監督:E・グラッチ)、指揮者ワレリー・ゲルギエフなどである。

東京公演プログラム

第一部

S. ラフマニノフ (1873~1943)

「聖イオアン・ズラトウースト(黄金口)の聖体礼儀」作品31 より

1. 「我が魂よ、主を崇めよ」 31-2
2. 「父と独り児に栄光あれ」 31-3
3. 「汝の御国にて」 31-4
4. 「来たれ我らの主、神に」 31-5
5. 「主よ、敬虔なる者を救え/聖なる神よ」 31-6
6. 「ケルビム(智天使)」 31-8
7. 「平和の恵み」 31-11
8. 「汝らに歌わん」 31-12
9. 「真にふさわしきかな」 31-13
10. 「天よりの主を讃め称えよ」 31-16
11. 「主の御名によりて/真実の光を見ん」 31-17
12. 「我らの口を汝の賛歌によりて」 31-18
13. 「父と敬虔の念いと篤き者に栄光あれ」 31-20

第二部

15のロシア民謡

1. 「細きぐみの木」 編曲: Yu.ワシーリエフ
2. 「雪が渦巻くなかを私は歩く」 編曲: N.リムスキー=コルサコフ
3. 「ヴォルガに渦巻く波」 編曲: V.アガフォーニコフ
4. 「いたる所に川、いたる所に橋」 編曲: E.ゴルバフ
5. 「川向うだった」 編曲: A.アンドルセンコ
6. 「川辺に出て行くだろうか」 編曲: M.クリモフ
7. 「主人が出かけた」 編曲: A.アレクサンドロフ
8. 「野に立つ白樺」 編曲: A.コジェヴニコフ
9. 「ああ、丘の上はどんなだろう」 編曲: A.スヴェシニコフ
10. 「果てもなき荒れ野原」 編曲: Yu.ワシーリエフ
11. 「私は出かけて行くだろうか」 編曲: A.グレチャニコフ
12. 「丘の上にスイカズラの木」 編曲: S.エキーモフ
13. 「暗い森で」 編曲: A.スヴェシニコフ
14. 「ヴェニキ」 編曲: F.ルプツォフ
15. 「あら、小母さん達がみんな」 編曲: A.スヴェシニコフ
ソリスト: リュドミーラ・エリョトキナ、ワシーリー・エフィーモフ、ミハイル・ダヴィドフ